

東京都立大学 子ども・若者貧困研究センター

一般市民が考える社会的必需品： 2023 年「大人の必需品に関する調 査」から

Working Paper Series Vol.43

阿部 彩

2024 年 12 月 26 日

この Working Paper の内容は著者によるものであり、当センターおよび東京都立大学の見解を反映したものではありません。なお、一部といえども無断で引用、再録することを禁じます。

子ども・若者貧困研究センター



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

1 社会的必需品の歴史

貧困の定義を考える際に、「何が生きるために必要か」という問いは避けることができない。しかし、その問いに対する簡単な答えはない。日本においては、「健康で文化的な最低限の生活」がすべての国民に憲法にて保障されているが、それを具現化する生活保護制度における生活保護基準についても 5 年ごとの改訂が行われており、その度に議論が重ねられている。

貧困研究の歴史においては、Peter Townsend(1928-2009)による相対的剥奪指標の開発 [Townsend,1979]、また、その剥奪指標の選定方法として生み出された社会的必需品 (Socially perceived necessities) [Mack & Lansley, 1985]を用いて貧困の測定をする手法 (社会的合意アプローチ (Consensual approach) と呼ばれる) が、イギリスを発端に、欧州連合 (EU) などの国際機関に普及し、現在においては、アジア諸国やアフリカ諸国などにも広がっている [Saunders et al., 2014; Chen et al., 2019; 阿部、2006; Barnes and Wright, 2012; Nandy and Pomati, 2015, Saunders et al., 2018]。剥奪指標とは、生活に必要な物品やサービスをリストアップし、その欠如を測ることによる貧困の測定方法である。社会的必需品とは、その物品やサービスのリストの選定にあたり、一般市民が「何が必要か」を考える調査を行い、その決断を一般市民に委ねる手法である。Mack & Lansley (1985)が、最初にイギリスの Breadline Britain 調査にて開発し、一般市民を対象とする事前調査にて物品のリストを提示し、それら一つ一つについて、一般市民の 50%以上が「必要である」と回答した場合に、その項目を「社会的必需品」と見なしている。EU は、この手法に準拠した形で 2007 年にユーロバロメーター調査 (Eurobarometer Survey) を行い、のちに EU の公式な貧困の定義となる物質的剥奪指標の開発に繋がった [Guio et al. 2012]。

日本においても、阿部 (2004) にて必需品調査が行われているものの、調査時点から既に 20 年が経過している。社会的必需品は、比較的の時系列の変化が少ないことが、子どもの剥奪指標では報告されているが [Abe, 2024]、この間の人々の生活様式の変化や、貧困の認識の高まりなどを考慮すると、今一度、一般市民に対する必需品調査を用いた社会的必需品の検討が必要である。そこで、本稿では、筆者が 2023 年 2 月に行った調査を用いて、現時点における社会的必需品のリストの構築を試みる。なお、阿部 (2004) で用いた調査結果や、会議における社会的必需品との比較などが望まれるが、それらは今後の分析といたしたい。

2 調査概要

2.1 調査手法

本稿にて用いるデータは、筆者が 2023 年 2 月に行った「大人の必需品に関する調査」である。本調査は、調査会社に登録する 20 歳以上のモニターに対して行ったインターネット

調査であり、年齢階層（10歳ごと）および性別による人口分布に合わせて割付された回収数にて総数 2000 となるまで行われた。

2.2 倫理的配慮

データには個人情報含まれず、個人の特定は不可能である。なお、本調査は、東京都立大学 2022 年度研究倫理委員会にて審査され承認されている（承認番号 H4-178）。

2.3 調査内容

本調査では、68 の項目について、以下の設問にて、それぞれ回答を求めた。項目のリストは、先行研究、EU（欧州連合）にて用いられている剥奪指標の構成項目などから選んだものである。設問の文面は、イギリスの 2012 年 PSE 調査に倣って作成された。

「現在の日本の社会において、ある家庭が、普通に生活するためには、最小限どのようなものが必要だと思いますか。」

(1) 電子レンジ (2) 冷房・暖房（ルームエアコン） ……（全 68 項目）

回答の選択肢は、(A) 必要である、(B) あったほうがよいが、なくてもよい、(C) 必要ではない、の 3 つである。選択肢のうち (A) を選択した場合、回答者がその項目を「必需品」と見なしたと解釈する。また、回答者のうち (A) を回答した割合をその項目の「支持率」と表す。なお、PSE 調査においては、50%の過半数の判別のために、人口分布に基づいた性別・年齢層によるウェイト付き集計を行っているが本調査においては回答者が既に人口分布に割付されているためウェイト集計は行わない。

本調査では、上記の設問のほかに、子どもの有無、20 歳未満の子どもの有無、末子年齢、同居家族の続き柄、自身の年収、配偶者の年収、主観的暮らし向きを聞いている。また、モニターの属性として、年齢、性別、都道府県、未既婚、職種、世帯タイプ、世帯年収、住居形態、運転免の有無、自家用車の有無についての情報を用いることができる。

分析にあたっては、ストレートライン（連続同一）回答をした回答者（n=77）を除いた 1,923 サンプルを用いた。

3 結果

3.1 支持率

まず、それぞれの項目の回答の割合を見る。表 1 は、支持率（= (A) と答えた割合）の高い順に 68 項目を並べたものである。最も支持率が高かったのは、「冷蔵庫／冷凍庫」であり、91.8%の回答者が「必要である」と回答している。次に支持率が高かったのは「洗濯機」（89.3%）、第 3 位は「必要な時に医者にかかれること」（87.7%）であった。逆に、最も支

持率が低かったのは、「オートバイまたはスクーター」であった(7.5%)。全 68 項目のうち、50%を超える支持率を得たものは 41 項目であった。

<表 1 >

項目を、それぞれの果たす生活上の機能別に分けて集計したものが表 2 である。数値は、支持率を示している。50%以上の支持を得ている項目については、太字にしている。機能は、以下のように整理した。

	機能
情報とコミュニケーション	情報を得たり、他者とのコミュニケーションをとることができる
身だしなみ	寒暖から身を守り、かつ社会において恥ずかしくない身だしなみを整える
栄養	健康を保つための栄養を摂ることができる
住宅	快適な住居で過ごすことができる
移動	自由に移動することができる
保障	病気や高齢・失業などの緊急時に備える
社会的活動	他者と交流したり、つながる
教養娯楽	自分の趣味や楽しみを持つことができる

機能別に必需品の支持率を見ると、まず、<情報とコミュニケーション>については、「インターネット接続」(79.7%) が最も高く、「テレビ」(66.2%) を上回った。「テレビ」は「インターネット」より劣勢になっているものの、依然として過半数の市民から必需品と考えられている。また、「家族の大人に 1 人 1 台の携帯電話」(66.1%) は、「自宅の電話(固定電話・携帯電話)」(48.1%) を大きく上回り、電話というコミュニケーション・ツールが「家族単位」のものから「個人単位」のものに変容していることがわかる。コンピューター(パソコン)(55.4%) は、約半数の市民から必需品と捉えられている。

<身だしなみ>については、「洗濯機」(89.3%) という衣服を清潔に保つための家電は約 9 割が必需品としており、そのほか、「冬用のコート」(75.4%)、「自宅用の普段着」(74.6%)、「新しい下着(1 年に 1 回以上)」(62.8%) は過半数の支持率を得ている。しかし、「就職・仕事用のスーツ」(44.6%) や、「晴れ着・礼服」(41.6%) などの普段着ではない衣服については、支持率が 50%を切っている。

<栄養>については、「果物(1 日 1 回以上)」を除くほかの項目は 7 割から 9 割の支持率を得ており、「果物」はぜひたく品と捉えられているものの、「肉・魚・豆腐などのたんぱく質」(81.0%) や「野菜」(81.6%) は毎日の摂取が必要と考えている人が 8 割以上となっている。また、「冷蔵庫」(91.8%) や「炊飯器」(75.9%) といった調理や食品の保存に必要な

家電も必需品と捉えられている。

<住宅>については、「冷房・暖房（ルームエアコン）」（84.6%）が、「公共料金（ガス・水道・電気など）」（83.2%）を超えて一番多い支持率を得ている。また、「家族専用の浴室（お風呂・シャワー）」（81.0%）、「家族専用のトイレ」（78.3%）、「家族専用の炊事場」（78.3%）は、どれも約8割の支持率を得ており、住居に備わる機能は家族単位で「必要」という考えが浸透していることがわかる。

<移動>については、「バスや電車の料金（長距離を除く）」（54.7%）がかろうじて過半数を超える支持率を得ているものの、「自家用車」（49.0%）、「自転車」（30.8%）は過半数を下回った。しかし、「バスや電車の料金」と「自家用車」の差は5%ほどであり、この差は居住地域の交通事情などに影響されている可能性がある。

<保障>については、すべての項目が50%以上の支持率を得た。「必要な時に医者にかかえること」（87.7%）を筆頭に、年金保険、生命保険、急な出費のための貯蓄などは、6割から7割の一般市民が「必要である」と考えている。

<社会的活動>については、最も高い支持率を得たのが「友人・家族・親戚に会うための交通費」（52.1%）がかろうじて50%を超えたものの、その他の活動については支持率は低迷している。

<教養娯楽・自分のためのお金>については、「家族のためでなく、自分のために使えるお金（週1000円以上）」（74.9%）は、比較的に高い支持率を得ており、たとえ週1000円とはいえ、家族ではなく個人としての金銭的な「ゆとり」は必要であると考える人が7割を超えている。しかしながら、そのほかの趣味や娯楽のための項目は、支持率は4割を超えるものではなく必需品とは捉えられていなかった。

<表2>

3.2 回答者の属性別に見た支持率の差

次に、回答者の属性別に見た支持率の差に注目する。剥奪指標に用いられる項目の候補となるためには、社会における異なる属性の間にそれが必需品か否かの意見に大きな食い違いがないかを確認する必要があるからである。属性については、先行研究に倣って性別（男性、女性）、婚姻状況（既婚、未婚）、年齢層（20-39歳、40-59歳、60-79歳）、学歴（中高卒、高専・専門卒、大卒・院卒）、世帯年収（400万未満、401～600万、601～800万、801～1000万、1000万以上）の5つである。表3に結果を示す。青いセルは、支持率が50%以上の項目を示している。

まず、属性間の支持率の相関を見ると、性別（ $r=0.97$ ）、婚姻状況（ $r=0.98$ ）、年齢（20-39歳 vs 40-59歳 $r=0.98$ 、20-39歳 vs 60-79歳 $r=0.92$ 、40-59歳 vs 60-79歳 $r=0.97$ ）、学歴（中高卒 vs 高専卒 $r=0.99$ 、中高卒 vs 大卒 $r=0.98$ 、高専卒 vs 大卒 $r=0.99$ ）、世帯年収（400万未満 vs 601-800万 $r=0.98$ 、400万未満 vs 1000万以上 $r=0.99$ 、601-800万 vs 1000

万以上 $r=0.98$) と、どの属性間においても高い相関が見られ、属性間の大きな支持率の差は見られない。最も相関係数が低いのは年齢別の 20-39 歳層と 60-79 歳層であるが、それでも相関係数は 0.92 であった。

各項目が「社会的必需品」として適切かという意味においては、相関とともに、それぞれの属性内においても過半数の回答者がその項目を「必要である」と考えているかが重要である。その観点で見ると、項目の上位の 37 項目（「冷蔵庫／冷凍庫」から「家の中で 1 人になれる場所」まで）は、どの属性においても過半数の支持を得ているが、38 番目（「コンピューター（パソコン）」）から 46 番目（「就職・仕事用のスーツ」）までは、一部の属性からは過半数の支持を得られていない。

次に、属性間の支持率の差を見ると、性別については、女性の方が男性よりも高い支持率となっていることが多い。最も大きな差があったのは、「ヘアドライヤー」（男性 50.2%、女性 76.2%）である。また、「コンピューター（パソコン）」は、男性の方が支持率が高い。

婚姻状況については、既婚者の方が、未婚者よりも高い支持率を示す項目が圧倒的に多い。未婚者の方が高い支持率なのは 10 項目のみであった。最も大きな差があったのは、「家族全員が座れる食卓」であった。

年齢層別に、20-39 歳と 60-79 歳を比べると、20-39 歳の方が高い支持率のものと、その逆のものが混在する。20-39 歳が 60-79 歳に比べて、大きな差で高い支持率を示したものは、「毎月の貯金」、「家賃の支払い」などである。60-79 歳が 20-39 歳に比べ、高い支持率を示したのは、「年金保険料の支払い／年金受給」「自宅の電話」などであった。

学歴別に、「中高卒」と「大卒・大学院卒」を比べると、その差は他の属性間の差に比べ比較的小さい。傾向としては、「中高卒」の方が、「大卒・大学院卒」よりも高い支持率を示している項目が多い。最も大きな差があったのは「複数の寝室（二人以上世帯の場合）」であった。

世帯収入別に、400 万未満世帯と 1000 万以上世帯を比べると、「テレビ」を除くすべての項目で 1000 万円以上世帯の方が高い支持率となっている。特に大きな差があったのは、「就職・仕事用のスーツ」であり、25.6 ポイントの差が見られる。

4 考察

本稿では、2023 年 2 月に 20 歳から 79 歳の一般市民に対して行った「大人の必需品に関する調査」を用いて、調査時点の日本における「社会的必需品」として支持を得られる項目が何かを分析した。検討した 68 項目のうち、41 項目は一般市民の過半数の支持を得たものの、そのうち 4 項目は一部の属性から過半数の支持を得ていないため、「社会的必需品」とは言えない。

選択された項目について、機能分野別に見ると、＜情報とコミュニケーション＞については、インターネットを通じた情報通信は「社会的必需品」と捉えることができるであろう。若干の差はあるとは言え、あらゆる年齢層、性別、世帯所得の属性からも支持を得ている。

一方で、テレビからの情報提供は年齢層や婚姻状況、学歴などによる差が顕著であり、現在においてはすべての属性の過半数の支持を得ているものの、将来は「社会的必需品」とならなくなると考えられる。また、コミュニケーションについては、家族単位の電話から、個人単位の携帯電話に「必需品」が変化している。

<身だしなみ>については、普段着や、衛生といった観点からの物品については、概ね「社会的必需品」として一般市民から捉えられている。一方、「就職・仕事用のスーツ」については、スーツが必要でない職種があるからか「必需品」とは思われていない。一方、「晴れ着・礼服」は、どのような人にも使う機会があると考えられるが、それが必要となるのは結婚式、葬式などの社会的活動に属するものであり、後に述べる他の<社会的活動>に関する項目と同様に一般市民の支持率は高くない。

<栄養>については、概ね、「社会的必需品」として捉えられている。ここにある項目だけでは、厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準（2020年版）」が定める栄養摂取が可能かどうかは判断できないものの、一般市民が栄養バランスを考えた、定期的な食事が必要と考えていることがわかった。

<住宅>については、国が定める「住生活基本計画（全国計画）」（国交省、2021）の中に規定されている「基本的機能」においては、居住室の構成等に以下のとおりに定められている。

(1) 居住室の構成等

① 各居住室の構成及び規模は、個人のプライバシー、家庭の団らん、接客、余暇活動等に配慮して、適正な水準を確保する。ただし、都市部における共同住宅等において都市における利便性を考慮する場合は、個人のプライバシー、家庭の団らん等に配慮して、適正な水準を確保する。

② 専用の台所その他の家事スペース、便所（原則として水洗便所）、洗面所及び浴室を確保する。ただし、適切な規模の共用の台所及び浴室を備えた場合は、各個室には専用のミニキッチン、水洗便所及び洗面所を確保すれば足りる。

③ 世帯構成に対応した適正な規模の収納スペースを確保する。

（国交省 2021: 24、下線は筆者）

ここにある中で、③の収納スペースに関するものの以外は、本分析の中で「社会的必需品」として挙げた項目と一致する。

<移動>については、「バスや電車の料金（長距離を除く）」は過半数の支持を得ているが、そのほかの手段（自家用車、自転車、オートバイまたはスクーター）については、過半数の支持を得られていない。すなわち、移動すること自体については保障されるべき機能として認識されているが、その交通手段は公共交通に頼ることのみとなっている。

<保障>については、すべての項目がすべての属性から指示されており、将来や、もしもの時のための保障が一般市民にとって重要であることが伺える。医療サービスの受診、市販

薬へのアクセス、将来への備蓄、年金保険、生命保険が老若男女、どの所得層の人々にも必要と認識されていることは、現代日本においてリスクがいかに大きな不安材料となっていることかを示唆していよう。

一方、＜社会的活動＞については、「友人・家族・親戚に会うための交通費」がかろうじて過半数を超えた支持率を得ているものの、その率は52.1%であり、決して高いとは言えない。その他の社会的活動は、「親戚の冠婚葬祭（ご祝儀を含む）」といった習慣に基づくものであっても約4割の支持率しか得ておらず、「町内会・子供会・老人会・婦人会などへの参加」については約1割となっている。また、上記2つや「職場の飲み会などへの参加費用」については「しがらみ」であり、そもそも参加する意欲や欲求が低いといった側面も少なからずあると考えられるものの、個人の自由意志で参加すると考えられる「趣味やスポーツを通じた交流の機会」についても、17.7%と低い支持率しか得られていないことは特記すべきであろう。

＜教養娯楽・自分のためのお金＞については、唯一、「家族のためでなく、自分のために使えるお金（月1000円以上）」が74.9%と高い支持率となっているものの、具体的なお金の使いみち（本、音楽、旅行、外食、映画・演劇鑑賞など）についてはどれも低い支持率となっている。このことは、日本社会における教養娯楽の種類が多様化し、かつては主流であった「読書」や「映画鑑賞」といった活動が必ずしも主流でなくなってきたことも一因であると推測される。例えば、近年流行であるSNSへの投稿は、携帯電話があれば可能であり、また、本を購入しなくともデジタルのコンテンツをダウンロードすることも可能である。そうだとすれば、ここでの結果は、人々が「教養娯楽・自分のためのお金」自体を必要でないと考えているわけではなく、それを達成するための手段が本調査の項目リストとずれていたという解釈ができる。

【文献】

阿部彩、2004、「補論「最低限の生活水準」に関する社会的評価」『季刊社会保障研究』39(4): 403-414.

国交省（2021）「住生活基本計画（全国計画）」

<https://www.mlit.go.jp/common/001392030.pdf>（アクセス日 2025/1/4）

Abe, A., 2024, “Are We Getting Closer to Consensus? An Analysis of Changes in Socially Perceived Necessities Over Time in Japan.” *Soc Indic Res* 175, 247–268. <https://doi.org/10.1007/s11205-024-03418-4>

Barnes, H., & G. Wright, 2012, “Defining child poverty in South Africa using the socially perceived necessities approach,” in Minujin, A. & S. Nandy (eds.), *Global child poverty and well-being: Measurement, concepts, policy and action*, Policy Press, 135-154.

Chen, KM., CH. Leu, & TM. Wang, 2019, “Measurement and Determinants of Multidimensional Poverty: Evidence from Taiwan,” *Social Indicators Research*, 145: 459–478.

Guio, A.-C., D. Gordon, & E. Marlier, 2012, *Measuring material deprivation in the EU: Indicators for the whole population and child-specific indicators*. Eurostat methodologies and working papers. Publications Office of the European Union.

Kim, E., & S. Nandy, 2018, “Multidimensional Child Poverty in Korea: Developing Child-Specific

- Indicators for the Sustainable Development Goals,” Child Indicators Research, 11: 1029–1050.
- Lau, M.K.W., D. Gordon, MF. Zhang, & J. Bradshaw, J., 2019, “Children’s and adults’ perception of child necessities in Hong Kong,” Social Policy & Administration, 53(6): 835-853.
- Leu, C.H., K.-M. Chen, & H.-H.Chen, 2016, “A multidimensional approach to child poverty in Taiwan,” Children and Youth Services Review, 66: 35-44.
- Mack, J., & S. Lansley, 1985, Poor Britain. Allen and Unwin.
- Nandy, S., & M. Pomati, 2015, “Applying the Consensual Method of Estimating Poverty in a Low Income African Setting,” Social Indicators Research, 124: 693-726.
- Saunders, P., & Y. Naidoo, 2018, “Mapping the Australian Poverty Profile: A Multidimensional Deprivation Approach,” The Australian Economic Review, 51(3): 336-50.
- Saunders, P., H. Wong, & PW. Wo, 2014, “Deprivation and Poverty in Hong Kong,” Social Policy & Administration, 48(5): 556-575.
- Townsend, P., 1979, Poverty in the UK: a survey of household resources and living standards. Allen Lane.

表1 一般市民の必需品に関する意識：全体集計

	(A) 必要である	(B) あったほうが いいが、なくても よい	(C) 必要ではない		(A) 必要である	(B) あったほうが いいが、なくても よい	(C) 必要ではない
1 冷蔵庫／冷凍庫	91.8	6.8	1.4	35 家財に対する火災保険	59.6	35.0	5.5
2 洗濯機	89.3	9.0	1.7	36 生命保険等（死亡・障害・病気など）	56.9	35.1	8.0
3 必要な時に医者にかかれること	87.7	10.4	1.9	37 家の中で1人になれる場所	56.4	39.2	4.4
4 冷房・暖房（ルームエアコン）	84.6	13.8	1.6	38 コンピューター(パソコン)	55.4	37.7	6.9
5 1日2回以上の食事（大人の場合）	84.1	14.1	1.8	39 バスや電車の料金（長距離を除く）	54.7	37.5	7.9
6 必要な時に歯医者にかかれること	83.6	14.8	1.6	40 理髪店・美容院にかかる費用（男性月1回、女性2カ月）	53.8	38.9	7.3
7 公共料金（ガス・水道・電気など）の支払い	83.2	12.1	4.7	41 友人・家族・親戚に会うための交通費	52.1	39.4	8.6
8 電子レンジ	83.0	14.6	2.4	42 複数の寝室（二人以上世帯の場合）	49.9	41.4	8.7
9 野菜（1日1回以上）	81.6	16.7	1.7	43 自家用車	49.0	35.8	15.1
10 家族専用の浴室（お風呂・シャワー）	81.0	15.2	3.7	44 自宅の電話（固定電話・携帯電話）	48.1	31.0	21.0
11 肉・魚・豆腐などのたんぱく質(毎日)	81.0	17.5	1.5	45 温水洗浄便座	46.0	41.4	12.6
12 カーテンまたはブラインド	80.9	16.5	2.6	46 就職・仕事用のスーツ	44.6	41.5	13.9
13 家族人数分のベッドまたは布団	80.0	17.1	2.9	47 晴れ着・礼服	41.6	46.3	12.1
14 インターネット接続環境	79.7	17.7	2.6	48 親戚の冠婚葬祭への出席（ご祝儀等を含む）	41.3	44.8	13.9
15 掃除機	79.5	17.7	2.8	49 別々の部屋にある寝室と食卓	40.9	44.0	15.1
16 家族専用のトイレ	78.3	16.7	5.0	50 果物（1日1回以上）	39.7	53.1	7.2
17 家族専用の炊事場（キッチン）	78.3	17.9	3.8	51 本（中古本も含む）	38.1	47.9	14.0
18 急な出費のための貯蓄（50,000円以上）	77.6	20.0	2.4	52 ベランダまたは庭	36.5	50.9	12.6
19 日光が入る部屋	77.3	20.4	2.3	53 DVD・ブルーレイ・ビデオなどの映像機器	35.5	46.1	18.5
20 炊飯器	75.9	19.0	5.1	54 1泊以上の国内家族旅行（1年に1回以上）	35.0	49.7	15.3
21 冬用のコート	75.4	22.4	2.2	55 ソファ・長椅子などリラックスできる椅子	34.9	52.7	12.4
22 年金保険料の支払い／年金受給	75.0	19.6	5.4	56 家族・友人・知人などへのお土産やお祝い品（1年に1回以上）	34.4	49.5	16.1
23 家族のためでなく、自分のために使えるお金（週1,000円以上）	74.9	22.5	2.6	57 本・DVDなど教養娯楽に使えるお金（3,000円以上／月）	32.9	50.8	16.3
24 湯沸かし器（台所、洗面所）	74.7	20.3	5.0	58 自転車	30.8	49.6	19.6
25 自宅用の普段着	74.6	23.0	2.4	59 外食（月に2、3回以上）	29.4	53.2	17.4
26 毎月の貯金	67.9	28.7	3.5	60 お正月のお祝い（門松、おせち料理、等）	25.2	52.5	22.4
27 テレビ	66.2	24.9	8.9	61 趣味やスポーツを通じた交流の機会	25.0	54.3	20.8
28 家族の大人に1人1台の携帯電話	66.1	28.9	5.0	62 カメラ（デジタルカメラも含む）	22.8	53.7	23.6
29 ヘアドライヤー	63.4	28.3	8.2	63 映画・演劇・コンサート・美術館に行く費用（月に1回以上）	22.6	54.5	22.9
30 新しい下着（1年に1回以上）	62.8	33.5	3.7	64 オーディオ機器（ステレオセット、CD/MDラジオカセットなど）	19.2	53.9	26.9
31 風邪薬・鎮痛剤・塗り薬などの市販薬	62.2	33.8	4.0	65 職場の飲み会などへの参加費用	17.7	46.2	36.0
32 家族全員が座れる食卓	61.3	32.2	6.5	66 携帯用音楽プレーヤー(iPodなど)	14.1	49.1	36.7
33 家賃の支払い	61.2	19.8	19.0	67 町内会・子供会・老人会・婦人会などへの参加	11.4	47.9	40.7
34 火災報知機	60.9	34.7	4.4	68 オートバイまたはスクーター	7.5	32.9	59.6

表2 機能別の必需品とその支持率

<情報とコミュニケーション>

インターネット接続環境	79.7
テレビ	66.2
家族の大人に1人1台の携帯電話	66.1
コンピューター(パソコン)	55.4
自宅の電話(固定電話・携帯電話)	48.1

<身だしなみ>

洗濯機	89.3
冬用のコート	75.4
自宅用の普段着	74.6
ヘア 드라이ヤー	63.4
新しい下着(1年に1回以上)	62.8
理髪店・美容院にかかる費用(男性月1回、女性2カ月)	53.8
就職・仕事用のスーツ	44.6
晴れ着・礼服	41.6

<栄養>

冷蔵庫/冷凍庫	91.8
1日2回以上の食事(大人の場合)	84.1
電子レンジ	83.0
野菜(1日1回以上)	81.6
肉・魚・豆腐などのたんぱく質(毎日)	81.0
炊飯器	75.9
果物(1日1回以上)	39.7

<住宅>

冷房・暖房(ルームエアコン)	84.6
公共料金(ガス・水道・電気など)の支払い	83.2
家族専用の浴室(お風呂・シャワー)	81.0
カーテンまたはブラインド	80.9
家族人数分のベッドまたは布団	80.0
掃除機	79.5
家族専用のトイレ	78.3
家族専用の炊事場(キッチン)	78.3
日光が入る部屋	77.3
湯沸かし器(台所、洗面所)	74.7
家族全員が座れる食卓	61.3
家賃の支払い	61.2
火災報知機	60.9
家財に対する火災保険	59.6
家の中で1人になれる場所	56.4
複数の寝室(二人以上世帯の場合)	49.9
別々の部屋にある寝室と食卓	40.9
ベランダまたは庭	36.5
ソファ・長椅子などリラックスできる椅子	34.9
温水洗浄便座	46.0

<移動>

バスや電車の料金(長距離を除く)	54.7
自家用車	49.0
自転車	30.8
オートバイまたはスクーター	7.5

<保障>

必要な時に医者にかかれること	87.7
必要な時に歯医者にかかれること	83.6
急な出費のための貯蓄(50,000円以上)	77.6
年金保険料の支払い/年金受給	75.0
毎月の貯金	67.9
風邪薬・鎮痛剤・塗り薬などの市販の薬	62.2
生命保険等(死亡・障害・病気など)	56.9

<社会的活動>

友人・家族・親戚に会うための交通費	52.1
親戚の冠婚葬祭への出席(ご祝儀等を含む)	41.3
家族・友人・知人などへのお土産やお祝い品(1年)	34.4
趣味やスポーツを通じた交流の機会	25.0
職場の飲み会などへの参加費用	17.7
町内会・子供会・老人会・婦人会などへの参加	11.4

<教養娯楽・自分のためのお金>

家族のためでなく、自分のために使えるお金(週1)	74.9
本(中古本も含む)	38.1
DVD・ブルーレイ・ビデオなどの映像機器	35.5
1泊以上の国内家族旅行(1年に1回以上)	35.0
本・DVDなど教養娯楽に使えるお金(3,000円以下)	32.9
外食(月に2、3回以上)	29.4
お正月のお祝い(門松、おせち料理、等)	25.2
カメラ(デジタルカメラも含む)	22.8
映画・演劇・コンサート・美術館に行く費用(月に1)	22.6
オーディオ機器(ステレオセット、CD/MDラジオカセット)	19.2
携帯用音楽プレーヤー(iPodなど)	14.1

表3 属性別の「必要である」と回答した割合 (2ページ目)

	性別				婚姻状況			年齢層				学歴				世帯収入					
	全体	男性 (n=943)	女性 (n=980)	有意差	既婚 (n=1217)	未婚 (n=706)	有意差	20-39歳 (n=531)	40-59歳 (n=722)	60-79歳 (n=670)	有意差	中高卒 (n=595)	高専・専門 (n=424)	大卒・院卒 (n=850)	有意差	~400万 (n=781)	401~600万 (n=437)	601~800万 (n=315)	801~1000万 (n=192)	1000万~ (n=198)	有意差
コンピューター(パソコン)	55.4	61.7	49.3 ***	-12.4	56.0	54.4	-1.6	50.3	55.5	59.3 **	9.0	50.9	51.2	60.4 ***	9.4	54.3	54.9	51.8	55.7	66.2 **	11.9
バスや電車の料金(長距離を除く)	54.7	52.1	57.1 **	5.1	53.7	56.4	2.7	54.2	53.2	56.6 ***	2.3	51.9	51.9	58.2 ***	6.3	53.3	51.7	53.7	54.7	68.2 ***	14.9
理髪店・美容院にかかる費用(男性月1回、女性2カ月に1回程度以上)	53.8	47.1	60.3 ***	13.2	55.9	50.3 **	-5.6	53.1	54.4	53.7	0.6	52.4	59.4	52.7 *	0.3	50.6	50.1	56.8	58.3	65.7 ***	15.1
友人・家族・親戚に会うための交通費	52.1	46.3	57.6 ***	11.2	53.0	50.4	-2.6	57.4	48.6	51.5 **	-6.0	49.2	53.8	52.9	3.7	50.8	48.3	54.3	51.6	62.1 *	11.3
複数の寝室(二人以上世帯の場合)	49.9	43.1	56.4 ***	13.4	52.7	45.0 ***	-7.6	47.8	49.0	52.4	4.6	52.9	54.7	46.2 **	-6.7	49.0	48.3	51.1	50.5	54.0	5.0
自家用車	49.0	49.5	48.6	-1.0	54.5	39.7 ***	-14.8	49.3	51.5	46.1	-3.2	56.8	52.4	42.9 ***	-13.9	43.5	50.6	54.0	52.1	56.6 ***	13.0
自宅の電話(固定電話・携帯電話)	48.1	45.3	50.7 ***	5.4	49.6	45.3 *	-4.3	39.6	45.7	57.3 ***	17.8	51.1	48.1	46.6	-4.5	49.6	46.7	45.1	44.3	53.5	4.0
温水洗浄便座	46.0	47.1	44.9	-2.2	51.5	36.4 ***	-15.1	41.4	42.5	53.3 ***	11.9	48.6	46.2	44.4	-4.2	43.0	45.8	45.4	51.6	53.5 *	10.5
就職・仕事用のスーツ	44.6	45.2	44.1	-1.1	44.7	44.5	-0.2	51.8	46.7	36.7 ***	-15.1	37.8	46.9	47.1 ***	9.2	39.6	39.1	46.0	54.2	65.2 ***	25.6
晴れ着・礼服	41.6	38.8	44.3 ***	5.5	42.8	39.5 **	-3.3	47.7	40.6	37.9 **	-9.7	39.7	45.5	40.0	0.3	38.9	41.4	42.5	43.2	49.5	10.6
親戚の冠婚葬祭への出席(ご祝儀等を含む)	41.3	39.1	43.4	4.2	44.9	35.1 ***	-9.7	42.2	37.1	45.1 **	2.9	42.0	43.9	39.4	-2.6	40.9	37.3	45.1	41.7	45.5	4.6
別々の部屋にある寝室と食卓	40.9	34.3	47.4 ***	13.1	42.2	38.7	-3.6	47.5	40.2	36.6 ***	-10.9	40.0	45.1	39.8	-0.2	36.9	40.7	46.0	43.2	47.0 **	10.1
果物(1日1回以上)	39.7	36.9	42.4 ***	5.5	42.5	34.8 ***	-7.6	37.5	35.9	45.5 ***	8.0	38.7	40.3	40.5	1.8	41.4	34.1	40.0	41.7	42.9	1.6
本(中古本も含む)	38.1	40.7	35.5 *	-5.2	38.9	36.7 *	-2.2	36.5	37.8	39.6	3.0	32.3	36.6	43.1 ***	10.8	36.9	37.1	34.9	44.8	43.4 ***	6.6
ペンダントまたは庭	36.5	33.3	39.5 ***	6.2	39.6	31.0 ***	-8.6	33.9	38.9	35.8	1.9	38.2	39.2	34.4	-3.8	35.1	34.1	39.7	38.5	39.9	4.8
DVD・ブルーレイ・ビデオなどの映像機器	35.5	32.9	38.0 *	5.1	37.4	32.2 ***	-5.2	35.4	37.5	33.3	-2.1	37.0	39.4	32.6 ***	-4.4	33.3	36.8	34.3	40.6	37.9	4.6
1泊以上の国内家族旅行(1年に1回以上)	35.0	32.6	37.4 ***	4.8	37.7	30.3 ***	-7.4	41.6	35.6	29.1 ***	-12.5	32.9	35.4	36.0 **	3.1	29.1	34.6	39.7	44.8	42.4 ***	13.4
ソファ・長椅子などリクライスできる椅子	34.9	32.6	37.1	4.6	35.8	33.3 ***	-2.5	43.1	31.2	32.4 ***	-10.7	33.3	38.9	34.0	0.7	32.0	33.9	32.7	40.6	46.5 ***	14.5
家族・友人・知人などへのお土産やお祝い品(1年に1回以上)	34.4	28.3	40.2 ***	11.9	35.7	32.2 *	-3.5	38.6	33.1	32.4 **	-6.2	32.4	39.6	32.8 **	0.4	31.4	29.1	37.1	40.6	47.5 ***	16.1
本・DVDなど教養娯楽に使えるお金(3,000円以上/月)	32.9	31.9	33.9	2.0	31.4	35.6	4.2	36.7	33.1	29.7	-7.0	29.9	31.4	35.3 *	5.4	29.2	33.6	33.3	33.9	44.4 ***	15.3
自転車	30.8	32.3	29.4 ***	-3.0	31.9	29.0	-2.8	34.7	30.1	28.7 **	-6.0	29.2	31.4	31.7	2.4	31.5	30.7	28.3	30.2	33.3	1.8
外食(月に2、3回以上)	29.4	28.1	30.6	2.5	29.8	28.6	-1.2	35.8	32.0	21.5 ***	-14.3	26.1	32.6	30.1	4.1	24.5	28.6	31.8	39.6	36.9 ***	12.4
お正月のお祝い(門松、おせち料理、等)	25.2	22.7	27.6 ***	4.9	27.5	21.1 ***	-6.4	26.7	21.8	27.6 **	0.9	24.5	25.9	24.7	0.2	25.4	19.9	28.6	28.7	27.3 **	1.9
趣味やスポーツを通じた交流の機会	25.0	28.1	21.9 ***	-6.2	25.1	24.7	-0.5	27.3	23.3	24.9	-2.4	22.9	24.1	26.1	3.3	21.3	22.2	28.6	30.7	34.3 ***	13.1
カメラ(デジタルカメラも含む)	22.8	22.8	22.8	-0.0	25.2	18.6 ***	-6.7	25.1	21.9	21.9 **	-3.1	19.8	24.3	24.1 *	4.3	22.0	21.7	21.6	24.0	28.8	6.8
映画・演劇・コンサート・美術館に行く費用(月に1回以上)	22.6	19.2	25.8 ***	6.6	20.4	26.4 ***	6.0	30.1	21.8	17.5 ***	-12.7	17.8	24.3	24.4 **	6.5	20.9	24.3	22.5	22.9	25.3	4.4
オーディオ機器(ステレオセット、CD/MDラジオカセットなど)	19.2	20.7	17.8	-2.9	19.1	19.4 ***	0.4	21.3	18.4	18.4 ***	-2.9	18.3	19.3	19.5	1.2	18.2	18.1	17.5	22.9	24.8 **	6.6
職場の飲み会などへの参加費用	17.7	22.4	13.3 ***	-9.1	16.4	20.0 **	3.5	24.5	18.4	11.6 ***	-12.8	15.6	16.5	18.7	3.1	15.2	13.0	19.4	25.5	27.8 ***	12.5
携帯用音楽プレーヤー(iPodなど)	14.1	14.5	13.8	-0.8	12.1	17.7 ***	5.6	24.1	12.7	7.8 ***	-16.4	10.6	16.0	15.1 **	4.5	13.8	12.4	11.8	21.4	16.2 **	2.3
町内会・子供会・老人会・婦人会などへの参加	11.4	11.9	10.9	-1.0	12.8	8.9 ***	-3.9	11.1	9.0	14.2 ***	3.1	11.8	9.2	11.8	0.0	10.1	11.4	12.4	14.1	12.1	2.0
オートバイまたはスクーター	7.5	10.6	4.6 ***	-6.0	7.2	8.2	1.1	11.9	6.8	4.9 ***	-6.9	8.2	6.8	7.4	-0.8	6.5	8.0	7.6	8.9	9.1	2.6